



p1 広島でガンバル企業

最先端画像処理技術と特許を利用した
大学との共同開発で、医療分野に進出。
血の通ったソフトウェアの開発で、
より豊かな人生、明るい未来を！

株式会社 イノテック

代表取締役社長 伊藤 賢治氏

p3 海外でガンバル企業

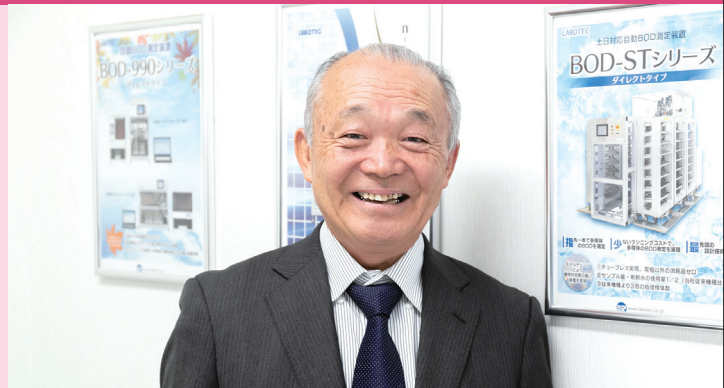
世の中にないもの、自分たちにしか
できないことで人・社会・地球に貢献。
日本流の技術力とノウハウ、感性で世界に挑む。

ラボテック 株式会社

代表取締役社長 吉川 恵氏

常務取締役 大野 一之氏

海外事業部チーフマネージャー 任 国飛氏



HIROSHIMA 広島ビジネスの発展を図る 2019 No. 111

産振構NEWS

p5 特集

カーテクノロジー革新センター

自動車新時代へ挑戦する地域企業のパートナー

p7 リポート

- ▶ アジアインバウンドビジネスセミナーの開催
- ▶ 医工連携サロン
「デザイン思考体験ワークショップ」を開催！
- ▶ 知的財産なんでも Q&A (外国出願編)

p9 インフォメーション

- ▶ ひろしまデジタルイノベーションセンターの利用について
- ▶ 第8期 広島会場 イノベーションインストラクター育成塾(現場改善人材育成講座)のご案内
- ▶ 広島起業化センター「クリエイトコア」の入居者募集
- ▶ 広島県中小企業技術・経営力評価制度のご案内
～評価を知れば、会社は変わる。～



ひろしま産業振興機構
Facebookはこちらから！



ひろしま創業サポートセンターフェイスブック

検索



広島県よろず支援拠点フェイスブック

検索



ひろしまデジタルイノベーションセンターフェイスブック

検索

広島で ガンバル企業

株式会社 イノテック

代表取締役社長 | 伊藤 賢治 氏 いとう・けんじ

経験で培った「匠」の技術を数値化し、画像で的確に判断できる画像処理アプリケーションを開発

イノテックは、工業用の精密測定器や顕微鏡などを販売する「猪原商会」の子会社として、23年前の1996（平成8）年に設立。販売だけでなく、車やパソコン、携帯電話などの精密部品の検査をする「品質管理ソフト」の開発や光学機器や測定器と連動した特注システムの開発・製造・販売を手がけてきた。

同社の強みは、画像処理技術。長い経験で培った「匠」の技術の伝承が次第に困難になりつつある時代を見すえて、「匠」にしかできない判断を数値化し、画像で的確に判断できる画像処理アプリケーションの開発に取り組んだ。

まず、「人」の目が何を見て判断をしているか。画像の「目のつけどころ」つまりポイントを見つけ、それを「言葉」に置き換え、仕様書を作る。その仕様書に従って画像処理をして、匠の判断通りの結果になるまでトライアンドエラーを繰り返して、精度を高めて行く。「どれがOKで、どれがNGなのか、なかなか理解できなくて、質問攻めにしていました。始まりは、言葉で明確にしていこうという、まさにローテクの世界」と伊藤氏は語る。こうした積み重ねが「ユーザーのニーズにきめ細かく対応したソフトウェア」を生んだ。「だれもが簡単に使える、血の通ったソフトウェア開発を心がけています」。



社員と共に歩み、2017年には
経済産業省の地域未来牽引企業に
選出された

AI（人工知能）の導入で世界は大きく変わろうとしている。株式会社イノテックは、自動車部品や精密機械部品など工業分野で培ってきた最先端画像処理技術に応用し、医療分野に進出。レントゲン画像を自動的に診断する医療用診断支援ソフトや再生医療のための細胞品質画像評価システムを開発し、5年後売り上げ70億円を目指す。

「医工連携プロジェクト」に応募、医療従事者の資格を得、共同開発した変形性膝関節診断支援システム「KOACAD」

創業後約10年、業績は変形性膝関節症支援ソフト「KOACAD」の開発事業だけでも順調だったが、2008（平成20）年のリーマンショックで売り上げは急激に落ち込んだ。折しも、それまで時代を担い、経済を支えてきた団塊の世代が大量にリタイアする時期と重なった。経験から身につけた技は、若い世代に「トリセツ」では伝えられない。その上、景気は低迷し、非正規雇用が増大の一途をたどる。さらに、時代は超高齢社会に突入し、医療や介護、福祉の現場でのニーズは高まる一方だ。「医療分野をもう一つの柱にと、考えました」。

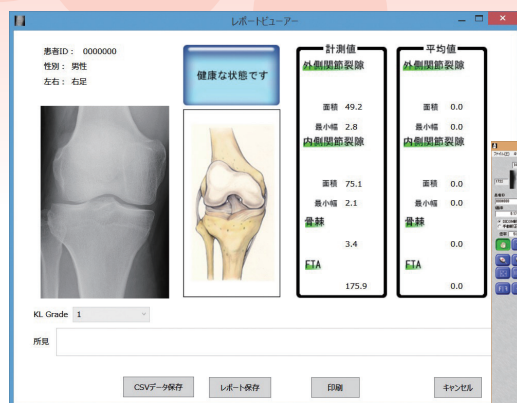
大学の研究成果を特許化し、それを企業に技術移転する仲介組織である「広島TLO」から、以前に広島工業大学と作図計測画像処理ソフトの特許許諾契約を締結したことがきっかけで、2010年、「東京大学TLO」から打診があった。

それは、「レントゲン画像から股関節の間隔や軟骨の面積を自動測定し、分析、診断支援結果を表示するソフト」の特許を利用した共同開発の提案だった。

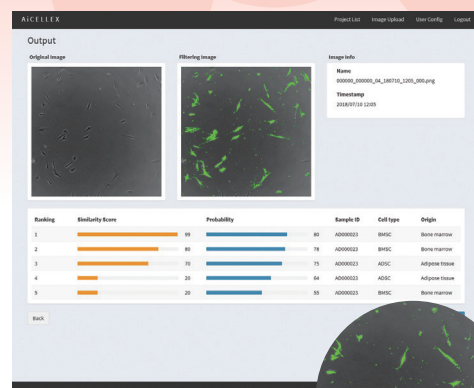
加齢による膝の軟骨のすり減りで関節が変形し、痛みや腫れを引き起こし、歩行に困難を生じている高齢者は多い。従来はレントゲン写真を医師の目で見て判断するため、ばらつきや重症患者の発見の遅れなどのケースも見られ、客観性の確保が求められていた。

画像処理ソフトの開発で高い実績を誇る同社は、東京大学の特許ソフトをもとに変形性膝関節症支援ソフト「KOACAD」を共同開発。数値化した客観的な指標によって、診断のばらつきもなくなり、適切な治療の指針となるこのソフトは、「Microsoft Innovation award2010」最優秀賞を獲得。16年には「中国地域ニュービジネス特別賞」を受賞した。今後、クラウド型の開発により、専門医のいない過疎地や小さな診療所でも精度の高い診断ができるようになり、カルテなどのデータ保全も進み、災害時などのリスク回避にも役立つ。

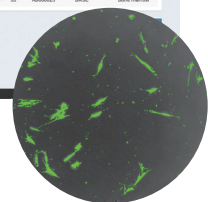
同社は、広島県が次世代をリードする重点産業に位置づけている「医療関連産業」に本格的に取り組むため、ひろしま産業振興機構が県内医療機器関連産業の活性化の



変形性膝関節症支援ソフト「KOACAD」



再生医療用細胞品質画像
評価システム「AiCELLEX」



ために設置した「ひろしま医療関連産業研究会」に入会。機構からの様々なサポートを受け、15年3月に第二種医療機器製造販売業を、同年7月に「KOACAD」を医療機器として上市した。これは14年11月施行の薬機法により新たに位置づけられた「医療機器プログラム」の県内初案件となった。

この技術を応用し、「さらに使いやすくすることで、リウマチの診断支援ソフトなど体全体の健康状態を知るソフトの開発につなげて行きたい」と意気込みを語る。

画像処理とAI関連技術の融合。クラウド型細胞品質画像評価システム「AiCELLEX」（アイセレックス）

「イノテックの掲げる理念は、超高齢化社会を迎え、健康で過ごせる期間を伸ばすことです」と伊藤氏。

2017年には名古屋大学とクラウド型細胞品質画像評価システム「AiCELLEX」（アイセレックス）を共同開発し、製品化に取り組んだ。「AiCELLEX」は、AI（人工知能）、CELL（細胞）、LEX（ラテン語の「辞書」という言葉の一部）という三つの言葉を融合して命名された。

再生医療や創薬開発に用いられる細胞を培養する施設において、これまで人間が行ってきた「細胞の顕微鏡観察による品質判断」を自動化、支援するシステムだ。画像処理とAI（人工知能）関連技術の融合によって、膨大な画像

データから得られる細胞の特徴を独自の指紋情報として数値化、この情報をもとに蓄積したデータベースをAIが学習、熟練者の予測精度を超える「品質診断結果」をユーザーにレポートする。まさにユーザーのための「細胞画像の百科事典」と言えよう。

データ解析の性能と現場での運用性能の両方を考慮したこのシステムは、他の追随を許さない画期的なデザインで同社の誇る強みとなっている。また、細胞を破壊することのない経済的な技術として品質管理のコストや安定性を飛躍的に向上させる可能性も高い。

細胞の画像診断技術による品質管理の有効性や実用性の実証されることで、新しいスタンダードとなることが期待されている。高品質の細胞の安定的生産によって「メイド・イン・ジャパン品質の細胞」はそのブランド力で、日本の再生医療や創薬開発を支える日も近い。

「がんや稀少疾患は根治し、失われた身体の一部も再生でき、細胞が医薬品となる時代がもうすぐ来ます。血の通ったソフトウェアの開発で、より豊かな人生、明るい未来を！」。平成29年度の経済産業省「飛躍Next Enterprise」&「地域未来牽引企業」に選定された同社は、5年後売り上げ70億円を目指す。

**最先端画像処理技術と特許を利用した
大学との共同開発で、医療分野に進出。
血の通ったソフトウェアの開発で、
より豊かな人生、明るい未来を！**

株式会社イノテック 会社概要

住 所／広島県広島市南区金屋町2番15号

代 表 者／代表取締役 伊藤 賢治氏

設 立／1996（平成8）年

事業内容／画像処理ソフト、測定支援システムの開発・販売、
医療機器ソフトウェア開発、測定に関わるハードウェア製作



海外で ガンバル企業

LABOTEC
ラボテック 株式会社

代表取締役社長

吉川 恵氏 きっかわ・めぐみ

常務取締役

大野 一之氏 おおの・かずゆき

海外事業部チーフマネージャー

任 国飛氏 にん・こくひ

オンリーワンの分析・計測技術を駆使して 多様なニーズにスピーディーに高い精度で応える

「同業者がやらないこと、できないことに挑戦してオンリーワンを目指してきた」と語るのは、ラボテック株式会社の代表取締役社長、吉川恵氏。約20年にわたって分析畑を歩いてきた吉川氏が1990（平成2）年に設立した会社で、分析事業に約50人、自動分析装置開発事業に約20人が携わる分析のスペシャリスト集団だ。

主な業務の一つである計量証明事業では、各省庁・地方自治体によって測定することが決められている水質、大気、土壌などの環境に関する分析を行っている。工場が川に排水を流す際に、国が定めるBOD（生物化学的酸素要求量、河川の水質汚濁の指標の一つ）基準値に適合しているかを計測、分析し、基準をクリアしていることを計量証明事業所として証明する。各種作業環境測定も行う。労働安全衛生法に基づく作業環境測定を行うべき作業場（粉じんの発生、化学物質などを扱う事業所）で、労働者の健康を守る環境が管理されているかを把握するための測定、評価を行い、証明書を発行する。

近年、ニーズが高まっているのが、異物混入などの究明業務調査や製品分析など、化学分析の手法を活用した特殊分析だ。異物混入の調査は、原因が分からないため仮説

を立てて方法を探らなければならず、しかも早急に正確な結果が求められる。独自のノウハウと高い技術力、経験の中で磨いてきた感性で、多様なニーズにスピーディーに高い精度で応えている。

分析事業の営業範囲は広島県内と山口県一部と近隣。ただし、化学プラントでの特殊な測定やアスベスト測定といった他にはできないオンリーワン技術は全国から声が掛かる。

分析事業と開発事業の両立で本当に必要な装置を開発 現場から生まれた装置を全国の分析センターへ

かつての日本では、環境分析は人の手で行う「手分析」が日常だった。BOD測定では一度に何百もの検体を扱うこともあり、同社の分析現場からも「なんとかできないか」と声が上がった。それに応えるべく生まれたのが「自動BOD測定装置」だ。多検体を迅速かつ効率的に測定できる。

BOD測定では検体を5日間培養しなければならない。月曜に準備して検査ができるのは土曜だ。世の中の週休2日制に合わせて、無人で稼働する「BOD-ST」シリーズを開発。「ST」はサタデーの略、土日対応という狙いを盛り込んだ。稼働状況は携帯電話等にメールで知らせる。

BOD分析データだけを見ると、全国のBODデータの80%がラボテック社の装置で出されたもの。この圧倒的シェアを持つ理由として、吉川氏は分析業務と装置開発の両立を挙げる。「農業を知らないといい農機具は作れない。実務をよく理解しているからこそ、本当に必要な機械、性能に気づくことができる」。全国に1200ほどある分析会社の中で、分析実務と装置開発を行う会社は同社のみ。さらに「自動化することで、手作業の代わりではなく、自動化することでより精度が高まり便利で故障しにくいものにしなければならない」。この厳しい姿勢がオンリーワンとしての地位をさらに高めている。



BOD-ST



四川省環境モニタリングセンターに納品した自動 BOD システム 250ml



広東省深圳市環境モニタリングセンターに納品した自動 CODMn 滴定装置

海外での販路拡大を狙って世界一の市場である中国へ大連に子会社を設立し中国でのオンリーワンを目指す

2005（平成17）年海外への販路拡大を狙って「ひろしま産業振興機構」の国際賛助会員となった。11年前、中国人の任さんが計測の仕事で入社し、いずれは海外進出を考えていた同社は、任さんを中心に中国の市場調査を開始。

2011（平成23）年に産振構が立ち上げを担った「ひろしま環境関連ビジネス海外販路開拓協議会」が実施した中国四川省の視察・商談会のツアーに参加。行政のバックアップも受けながら、中国での営業活動の足掛かりを築いた。2014（平成26）年11月には、上海で行われた「中国国際工業博覧会」に産振構のブースを活用して出展。2015（平成27）年1月には、産振構から補助金「平成26年度中小企業知的財産活動支援事業補助金（中小企業外国出願支援事業）間接補助金」を受けて中国での商標登録を果たした。2018（平成30）年9月には大連に子会社を設立。中国での営業活動の基盤を整えた。同年11月には、北京にある「中国国家環境分析テストセンター（日本語で日中友好環境分析センター）」に同社が技術提携する「BOD COD環境分析テスト合作実験室」が完成。中国で

の高い信頼を獲得している。

中国は今、環境分析に国を挙げて取り組んでいる。従業員6000人を超える大規模な分析センターがいくつもあるという。「それらが淘汰されたとしても、中国での分析装置の売り上げが日本での売り上げを上回る日はそう遠くない。中国で必要な装置をよく見極め、安いコストでの製造体制を整えなければならない。代理店制度やメンテナンスをどうしていくかも課題だ。日本での成功事例をもとに、日本のBOD測定装置で中国をきれいにする意気込みで取り組んでいきたい」。

海外でのオンリーワンへの挑戦は始まったばかりだ。



中国国家環境分析テストセンター(BOD COD 環境分析テスト合作実験室)

世の中になんもないもの、自分たちにしかできないことで人・社会・地球に貢献。
日本流の技術力と
ノウハウ、感性で世界に挑む。

ラボテック株式会社 会社概要

住 所／広島県広島市佐伯区五日市中央六丁目9番25号
代 表 者／代表取締役 吉川 恵氏
設 立／1990（平成2）年
事業内容／環境分析・測定・調査、計量証明事業、
分析装置の開発・制作・販売

左から任氏、吉川氏、大野氏



カーテクノロジー革新センター

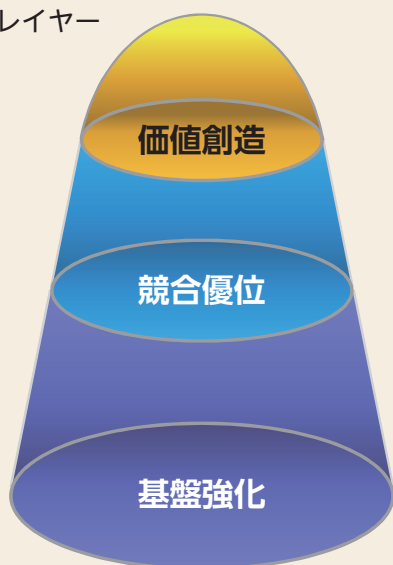


自動車新時代へ挑戦する地域企業のパートナー

センターの目標と活動概要

●2020年のありたい「地域企業像」 県内外に価値ある提案ができる企業群

活動レイヤー



「新しい価値創造」

地域発の新たな価値創造を目指します。
・探索的な実験研究による新技術へのトライアル
・メカニズム解明

「競合優位」

世界レベルの提案型企業の創出を目指します。
・世界の最先端の技術を知る
・競合優位状態の実現

「基盤強化」

地域の企業の底上げを目指します。
・人材育成
・要素技術・知見のレベルアップ

●ひろしま自動車産学官連携推進会議（ひろ自連）の活動

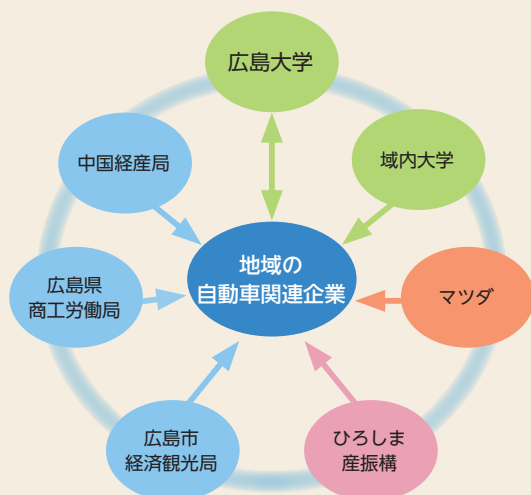
- ・中国経済産業局、広島県、広島市、広島大学、マツダ、ひろしま産業振興機構が連携し、地域の自動車産業を盛り上げようとしている会議体です。詳しくは公式ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.hirojiren.org/>
- ・カーテクノロジー革新センターは地域企業活性化委員会の主管団体として、地域企業のニーズ把握などを行っており、その一環として、中国経済産業局、広島県、広島市と連携し、これからも、広島らしい課題抽出のきっかけ作りを進めます。

地域企業活性化委員会 2018年度連携活動

セミナー	講師	開催日	主催
「自動車業界に起きているトレンドと未来成長へのきっかけ」	D-Lab	5/21	産振構
自動車市場予測ワークショップ	IHS Markit	10/2	産振構
「自動車技術の将来動向とサプライヤーへの期待」	日産自動車	10/26	経産局
デンソーグループニーズ発信会	—	10/30	経産局
「スタンフォード大学招聘セミナー」	スタンフォード大学	11/14～16	産振構
「スマートファクトリー」事例紹介	ヒロテック	11/22	広島市
「NCAP/環境規制動向」	マツダ	2/7	産振構
「広島発・産学官金コラボセミナー」	広島市立大学等	3/18	局、県、市、産振構、広銀



関係団体にて「連携」、
地域企業と「共創」することで、
「価値レベルを向上」



センターの活動紹介

新技術探索

●新技術トライアル・ラボ

「振動騒音」「熱マネジメント」「軽量化」「質感」の4領域をターゲットに、技術課題を解決するためのメカニズム解明から要素技術の探索活動を金属加工や樹脂成型などの素形材技術に強みをもつ地域企業の研究開発力強化のための共創活動と併せて実施しています。

平成30年度は、「インパネNVH技術開発」「ドア断熱技術開発」「軽量フレーム構造研究」など10テーマについて、実証実験を行いました。

また、地域企業との共創活動の結果、「ドア断熱計測評価法構築」を（公社）自動車技術会2018秋季大会において技術発表、日本機械学会中国四国支部技術創造賞を受賞するなど、地域企業の研究開発能力の向上に貢献しています。



技術開発支援

●ベンチマーキング活動

平成30年度は、自動車性能をリードする欧州車をターゲットとし、Volkswagen Tiguanを分解調査しました。

地域企業の部品開発における課題抽出のみならず、他県からの参加も多数あり、全国各地から注目を集める活動になっています。



人材育成支援

●人材育成セミナー

加加速度的に変化する自動車産業に対応するため、「社会要請・顧客要請の的確な把握」、「主体的な課題設定と解決」「革新的技術の創造」という一連の技術開発活動をリードできる技術人材の創成を目指し、「自動車技術の基盤を固める」研修、「業務スキルを向上させる」研修などの人材育成支援に取り組んでいます。次年度は、「IoT/AI技術等の新技術」「実践的スキルアップ」に重点を置いた研修を展開しますので是非ご活用ください。

平成30年度は、次のような研修等を開催しました。

「自動車技術の基盤を固める」研修

- ・自動車工学基礎講座

「業務推進スキルを向上させる」研修

- ・VE基礎セミナー ・開発設計のVE ・TRIZ入門講座 ・伝えるポイントを学ぶプレゼンテーション研修
- ・技術者のためのコミュニケーションスキルUP研修 ・相手を動かすコーチング研修



●AI/IoT活用基盤構築

■スマートファクトリー

広島県の「AI/IoT活用基盤構築事業」として予算2千万円の一部を利用して、自動車部品の検査工程に人工知能（AI）技術を使用した実施実験を10月から3月の半年間で実施しています。県内の自動車部品メーカー2社（㈱東洋シート、NSウエスト㈱）が協力し、ミシマ・オーエー・システムズ㈱が米コグネックス製のディープラーニングベースの画像処理ソフトVisionPro ViDiを用いて検査システムを構築します。東洋シートではこれまで困難と言われてきた部品のシワやキズを検出し自動車シートの見栄え品質検査工程の効率化を目指し、工場の検査工程に機材を設置し実証実験を行います。一方、NSウエストでは自動車用樹脂成型部品における、ウェルド、フラッシュ、異物噛み込み、ショートショット等の検査工程の効率化に向けた評価を行います。



■e-Learning

社会人向けの学び直しプログラムであるenPiT-everi事業のe-ラーニング部分を一部利用して、社会人向けe-ラーニング教材を広島市立大学に委託し開発を行っています。地場のサプライヤーが個社の効率化を目指してIT技術を導入するために、メーカーやシステムインテグレータのITエンジニアと仕様打ち合わせ等がスムーズに行えるようテクニカルタームやその概要等を広く知る人材を育成することを目的としています。

コース終了時点では、

- ・個社の課題をIoTで見れる
 - ・IoT視点での課題定義ができる
 - ・個社の課題をIoT視点でIT専門メーカーに伝えることができる
 - ・IT専門メーカーと個社の課題解決策の仕様打ち合わせができる
 - ・IT専門メーカーに適切な価格合意ができる（相場感を知っている）
- の要件を満たす人材になることを目指しています。

IoT (Internet of Things)で何をする？

AIもデータ解析もデータの量がカギを握る

IoTは人を介さずにデータ収集する仕組み



01 Report

アジアインバウンドビジネスセミナーの開催

日本を訪れた外国人観光客の数は初めて3,000万人を突破。広島県でも平成29年度、外国人観光客は243万人と前年に比べ41万人増加し、6年連続して過去最高を更新しています。特に、アジア地域（香港・中国・台湾等）からの観光客が急増しており、ますますこれら地域を対象としたビジネスへの関心が高まっています。国際ビジネス支援センターでは、広島日本香港協会と共催により、県内企業の皆様のインバウンドビジネス等の活性化を図るためセミナーを開催しました。

当日は、観光、運輸、小売等をはじめとした企業等の皆様にご参加いただき、会場は満員となり、インバウンドビジネスへの関心の高さを伺うことができました。

- 日 時 平成31年2月14日（木） 13:30～15:45
- 会 場 広島県情報プラザ2階 第2研修室
- 参加者 66名



香港角川有限公司 太田総経理によるご講演

第1部では「香港における訪日インバウンド情報の発信について」と題し、香港角川有限公司総経理 太田友樹氏から、香港No.1の訪日情報誌「香港ウォーカー」の発行を通じて得た「香港等からの訪日客のモノ・コトに向けた視点の先がどこなのか」について事例を交え詳しくご講演いただきました。

また、第2部では「日本の当たり前をとらえ直す！ これからのインバウンド戦略」と題して（株）MATCHA インバウンド戦略部 統括マネージャーを務められているタイ出身のシーソンクラム カオ 氏から訪日外国人が実際に何を求めているのかについて解説いただき、「日本人が考える当たり前とのギャップ」について、改めて考える機会となりました。

会場の皆様からも訪日客の年齢別のニーズの特徴やSNSを使った効果的な情報発信等々多くのご質問をいただき、熱気にあふれたセミナーとなりました。

今後とも、インバウンドビジネスや海外への消費財の輸出等を手掛ける皆様の事業展開にお役に立てるよう取り組みを進めてまいります。

お問い合わせ 国際ビジネス支援センター TEL 082-248-1400 FAX 082-242-8628

02 Report

医工連携サロン

「デザイン思考体験ワークショップ」を開催！

今回は、第5回医工連携サロンについて報告します。

ワークショップでは、「デザイン思考を用いて（ニーズを創出する）体験ワークショップ」というテーマで、森ノ宮医療大学 西垣孝行准教授、日本の技術をいのちのために委員会 大浦イッセイ専務理事を講師としてお招きし、医療者から示されたニーズを事業コンセプトに落としこむデザイン思考の手法について解説いただき、その後、医療関係者・企業・行政関係者等を交えた8つのグループにて問題点（課題）を含む医療現場の写真を用いたニーズ分析手法のグループワーク、発表を行いました。

参加者の皆様からは、「考え方や思考を変えるきっかけになった」「グループワークを通じてニーズの深掘りが出来た」「医療関係者と交流でき貴重な意見を聞くことができた」など非常に好評でした。

今後も、同様のワークショップの開催等も含めて、県内企業の皆様の医療・福祉機器開発を支援して参ります。

- 日 時 平成30年12月7日（金）
14:00～17:00
- 会 場 広島県情報プラザ
- 参加者 36名



ワークショップの様子

お問い合わせ ひろしま医工連携推進センター（ひろしま医療関連産業研究会 事務局） TEL 082-240-7709 FAX 082-242-8628

Q 特許や商標などを海外で出願する場合の費用の助成はないの？

A 海外市場での販路開拓や円滑な営業展開、また模倣被害への対策には、進出先において特許権や商標権等を取得することが重要です。ひろしま産業振興機構では、特許庁の事業を活用し、外国へ特許、実用新案、意匠又は商標の出願を予定している中小企業等に対し、外国出願に要する費用の1/2を助成します。

【助成対象となる経費】

- ①外国特許庁への出願手数料
 - 特許・実用新案……各国への直接出願費用、PCT国際出願の国内移行費用
 - 商標……各国への直接出願費用、マドプロ出願費用
 - 意匠……各国への直接出願費用、ハーグ出願費用
- ②①に要する国内代理人・現地代理人費用
- ③①に要する翻訳費用

Q どんな企業・案件が対象となるの？

A 支援の対象となる企業は、県内中小企業者又は中小企業者で構成されるグループ（構成員のうち中小企業者が2/3以上を占める者）。地域団体商標の外国出願については商工会議所、商工会、NPO法人等も対象となります。

【助成対象となる案件】※

- ①応募時に既に日本国特許庁に対して特許、実用新案、意匠又は商標出願済みであり、採択後に同内容の出願に対し優先権を主張して外国へ年度内に出願を行う予定の案件。（商標は優先権がない案件も可）
 - ②先行技術調査等の結果からみて、外国での権利取得の可能性が明らかに否定されないこと。
 - ③外国で権利が成立した場合等に、「当該権利を活用した事業展開を計画している」又は「商標出願に関し、外国における冒認出願対策の意思を有している」こと。
 - ④外国出願に必要な資金能力及び資金計画を有していること。
- ※年度により異なる場合がありますので、詳細は公募時の募集要領をご確認ください。

Q どのくらい金額を支援してもらえるの？

A 補助率 1/2以内
 上限額 1企業あたり：300万円
 1案件あたり：特許150万円
 実用新案・意匠・商標 それぞれ60万円
 冒認対策商標 30万円

※年度により異なる場合がありますので、詳細は公募時の募集要領をご確認ください。

Q なぜ外国出願をする必要があるの？

A 海外展開を計画しているけれど、日本で特許や商標を取得したから、その製品を海外に輸出して販売しても問題ないよね？



いいえ、輸出を差し止められたり、現地企業から権利侵害で高額の損害賠償を求められる可能性があります！

日本で取得した権利の効力は、外国には及びません。

特許や商標等の知的財産権は各国の法律に基づいて付与され、その効力は権利を取得した国に限定されます。そのため、権利を取得していない国で、自社の技術やブランド名を他社に無断で使用されたとしても、その国では権利侵害を申し立てることができません。また、権利を先取りした第三者から権利侵害の指摘を受けるリスクもあります。したがって、海外で安定的に事業を実施するためには、それぞれの国で権利を取得する必要があります。

出典：特許庁「中小企業海外展開支援策おしながき」

インフォ1

ひろしまデジタルイノベーションセンターの利用について

①＜新年度から、料金体系が変わります＞

年間利用登録料（10万円）なしで、気軽に使用・短期利用していただける新料金を追加設定いたしました。

②＜新年度の年間研修計画をまとめました＞

研修参加を事前にご検討いただくことで、より参加しやすいように、希望の多かった「年間計画」を策定しました。

- ・「MBDプロセス研修」を年4回実施する
- ・「MBDアドバンス研修」（より専門的な研修）を始めるなど、よりお役に立てるよう、内容を充実させていますので、ご参加ください。

①・②共に、詳しくは

<https://www.hiwave.or.jp/hdic/>



お問い合わせ

ひろしまデジタルイノベーションセンター

TEL 082-426-3250 FAX 082-426-3251 E-mail: hdic@hiwave.or.jp



インフォ2

第8期 広島会場 イノベーションインストラクター育成塾（現場改善人材育成講座）のご案内

ひろしまものづくり人材育成センターでは、【品質、コスト、納期】の改善で現場の力を高め、企業収益を上げるための、現場改善人材を育成するイノベーションインストラクター育成塾を開催します。
開講は2019年5月15日（水）の予定です。

☆イノベーションインストラクター育成塾の主な特徴

- ①体系的・実践的なカリキュラム（概論、理論、手法、演習）
～理論だけでなく、豊富な演習を組み合わせた実践的なカリキュラムです。
- ②実際の現場で活動し、理解を深める現場実習
～実際に稼働している現場をお借りして実習します。
- ③様々な業種の方との交流
～ものづくりOBの活躍は、終了後にはじまります。

☆第8期イノベーションインストラクター育成塾募集概要

- ・期 間：2019年5月15日（水）～8月1日（木）間の18日
- ・改善報告会：2019年10月18日（金）
- ・場 所：広島県情報プラザ 研修室、現場実習企業
- ・募集対象：
 - ものづくりの知識・経験を有する現場リーダー、経営幹部の方
 - ものづくり企業のOB及びIT、IoTやAI、ロボットに知見があり、受講後に県内企業の改善活動に従事いただける方
- ・募集定員：12名
- ・募集締切：2019年4月12日（金）必着



座学演習の様子



現場実習の様子



お問い合わせ

ひろしまものづくり人材育成センター

TEL 082-240-7716 E-mail: h-jinzai@hiwave.or.jp

ひろしま産業振興機構が運営する広島起業化センター「クリエイトコア」は、新規開業、新分野進出を目指す企業・個人に対し低料金の貸事業場を提供するとともに各種の支援サービスを行い、その立ち上がり期間を積極的にサポートしていく施設です。

■施設概要

- (1) 所在地 〒739-0046 広島市鏡山3-13-60 (株広島テクノプラザに隣接)
- (2) 構造等 鉄骨造2階建、延面積1,454㎡
- (3) インキュベートルーム(貸事業場) 20室(30㎡～77㎡)
- (4) 商談・交流室 2室(商談・会議、コピーの共同利用可)
- (5) 無料駐車場有

■入居・賃貸条件

- (1) 利用日及び利用時間 年中無休、24時間利用可
- (2) 利用料金 月額2,000円/㎡(共益費含む・税別)、敷金無し
- (3) 入居期間 原則として3年以内(更新可)

■入居対象者

製品開発・商品開発に取り組む個人や中小企業の方で、新しく企業を興えようとする方、創業期にある方、新たな事業分野への進出を目指す方が対象となります。(入居に当たっては審査があります。)

■申し込み・問い合わせ先

(公財)ひろしま産業振興機構 起業化・事業化支援担当(担当:中西・下桶)
TEL:082-240-7701 FAX:082-249-3232 mailto:sien-center@hiwave.or.jp

■詳細情報 <https://www.hiwave.or.jp/purpose1/createcore/>



お問い合わせ

起業化・事業化支援担当

TEL 082-240-7701 FAX 082-249-3232 E-mail:sien-center@hiwave.or.jp

広島県中小企業技術・経営力評価制度のご案内

～評価を知れば、会社は変わる。～

■広島県中小企業技術・経営力評価制度とは

財務諸表に表れない技術力やノウハウ(ビジネスモデルを含む)をはじめ、成長性・経営力を評価した評価書を発行します。また、評価によって明らかになった課題の解決に向け、支援メニューをご提案します。

■対象となる方

県内に主たる事業所等を有し、県信用保証協会の保証対象業種に属する中小企業者

■評価手数料(手数料の半額を産振構が負担しています。)

標準評価型50,000円(専門家1名により評価)

■活用方法

◇会社経営の羅針盤として

第三者による客観的かつ分かりやすい評価により、自社の「強み」「弱み」が確認できます。

また、「弱み(課題)」の解決に向けた方向性まで記載しますので、今後の会社経営の参考となります。

■発行後の特典

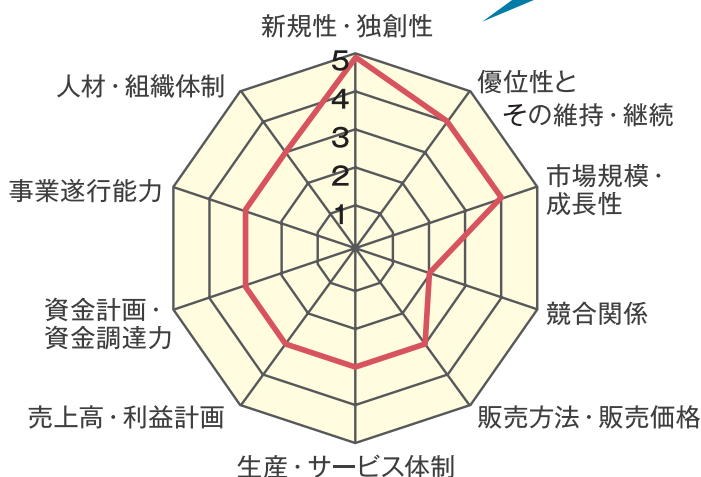
◇低利融資制度の活用

県預託融資制度(事業活動支援資金)の対象となります!【融資利率0.7%～】

◇信用保証料補助による負担軽減

評価書有効期限内(発行より1年間)であれば、20万円を上限に、信用保証料についての補助が受けられます!

レーダーチャート例



お問い合わせ

広島県中小企業知財支援センター

TEL 082-240-7718 FAX 082-249-3232 E-mail:c-hyouka@hiwave.or.jp

新企画

TPPもEPAも発効！
外国人がほしい商品を作りませんか？
日本の加工食品を世界に

今世界は健康志向で大変な日本食ブームです。日本食品として代表的な「抹茶」やその加工食品は世界で売れています。

弊社は、高品質な日本茶と杜仲茶を提供し、模倣品が出ない様、7年前から東南アジア、欧米で使える商標を登録しています。

広島で作られる食品と「日本茶」をコラボして、安全な日本食品として世界に販売しませんか!!



有限会社セカンドグリッド

〒722-0025 広島県尾道市栗原東1-1-6
TEL 0848-23-2886 FAX 0848-23-4119
<https://ujienseicha.co.jp>
E-mail:info@secondgrid.com
(担当者名)代表取締役 溝口 義博

新規サービス

確かな施工実績とノウハウで
自信をもってご提案します
『行きたくなる屋上』づくりのご提案

当社は、屋上・屋根改修、外壁改修、内部改修、耐震補強を軸に、ビル・マンション・病院・工場・学校など、あらゆる建物を美しく再生する改修専門会社です。また、長年の屋上防水改修実績と屋上利用ノウハウを活かし、屋上菜園、屋上BBQ、グランピング、ヘルスサポート、リラクゼーションスペース等の余暇利用など、屋上遊休スペースの活用提案をいたします。



株式会社ラックス

〒721-0952 福山市曙町4-3-18
TEL 084-957-5038 FAX 084-957-5072
<http://www.lucks.co.jp/>
E-mail:info@luck.co.jp
(担当者名)営業部 井上 葉子

新製品

「すっぽん」コストダウンの切り札!!
次世代アンダーカット成形ユニット「すっぽん」

“すっぽん”は、従来成形できなかったアンダーカット形状が簡単に成形でき、かつ、金型品質を向上させる便利な装置です。この装置をご使用になると、

- ①成形サイクルの短縮
- ②金型の小型化、加工工数の削減
- ③小型成形機適用可能化による成形ランニングコストの削減
- ④成形品形状の自由度が拡大

⑤成形品形状精度の向上に威力を発揮します。
弊社ホームページに「すっぽん」構造が分かりやすい動画を掲載しております。
是非、ご覧ください!

Technocrat



株式会社テクノクラーツ

〒732-0824 広島市南区的場町1丁目5-5
TEL 082-264-1010 FAX 082-264-1071
<http://www.technocrats.co.jp/supponshop/>
E-mail:suppon@technocrats.co.jp
(担当者名)すっぽん開発課 岡崎 進

新製品

わずか1秒、嚥下・口腔機能の訓練を数値化
簡易型呼気圧計測器「tasukul タスクル」

自宅や施設で簡単に行えるセルフメディケーションのための、呼気圧測定器です。

カー杯フツと息を吐き出し、最大呼気圧を測ります。毎日続けることで自然と飲み込み力が鍛えられ、誤嚥リスクの軽減が期待できます。「毎日笑顔にいつまでも健康でいてほしい」そんな想いで開発しました。

誤嚥性肺炎・口呼吸・オーラルフレイル(口や口周りの筋肉・機能の衰え)が気になる方へ特におすすめです。またお子様や、プラチナ世代・スポーツトレーニングにもどうぞ。

標準価格: 26,000円(税抜)

*レベルは1~6段階あり、一般の健康な人であれば3~5が通常のレベルです。



弓場商事株式会社

〒723-0014 三原市城町3丁目1番1号
TEL 0848-38-9030 FAX 0848-38-9031
<https://yubacorp.com>
E-mail:yubacorp@gmail.com
(担当者名)小見山

賛助会員募集のご案内

本財団は、企業の新技術・新製品開発、創業・新事業展開、経営革新、経営基盤の強化、国際化等の取組みを総合的にバックアップする公益法人です。本財団の様々な活動は、賛助会員のご協力によって支えられており、事業の充実と県内の地域ニーズに応じた活動を展開するため、賛助会員を募集しています。賛助会員(一般、国際)に加入いただきますと、財団情報誌の無料配付や、セミナー・講演会等の優先案内・参加料の割引など、各種特典がございます。皆様のご賛同を心よりお願い申し上げます。お気軽にお問い合わせください。

お問合せ先

賛助会員(一般): 総務企画グループ

賛助会員(国際): 国際ビジネス支援センター

TEL.082-240-7715 FAX.082-242-8627

TEL.082-248-1400 FAX.082-242-8628